

< 記入例 >

裏面の留意事項についても
よくお読みください。

様式第1号 (第5条関係)

その1 (起業支援室以外の施設用)

Table with 6 columns: ※受付年月日 (年 月 日), ※受付番号, 第 号, ※承認・許可番号, 第 号

中小企業振興館使用承認申請書

〇〇年〇〇月〇〇日

福島県中小企業振興館指定管理者
公益財団法人福島県産業振興センター理事長

〒960-0000

① 申請者 住所又は所在地 福島市三河南町〇〇-△△
氏名又は名称及 株式会社コラッセ
び代表者の氏名 代表取締役 福島 太郎
(電話番号) 024-000-△△△△

次のとおり中小企業振興館を使用したいので申請します。

Application form with multiple sections: ② 催しの名称 (ふくしま物産展), ③ 使用の目的 (販売会), ④ 使用施設名 (多目的ホールAB) and usage schedule table, ⑤ 営利目的の有無 (有), ⑥ 附属設備等使用の有無 (有) and attendance numbers, ⑧ 案内表示 (要), ⑨ 担当者 (西口 次郎), ⑩ 承認書等書類送付先 (担当者)

備考 ※使用者区分 □一般 □中小企業者又は支援団体

- 1 ※印の欄は、記入しないでください。
- 2 □のある欄は、該当する箇所にレ印でチェックしてください。
- 3 「支援団体」とは、福島県産業支援館条例別表一の1の(1)の表備考2に規定する中小企業者を支援する者を行います。

留意事項

- ① 申請者住所・氏名又は名称及び代表者氏名
この部分に記載されている者を主催者とし、料金を請求するときの請求先となります。正確に記入してください
- ② 催しの名称
- ③ 使用の目的(催しの内容)・・・該当箇所に「レ」印で記入ください
特に展示会、フェスティバル等の催しについては、実施要綱等開催内容の確認ができるものを添付してください。
- ④ 使用する施設名及び使用期間(設営・準備、開催、撤去・保管についてそれぞれ記入ください。)
- ⑤ 営利目的の有無・・・該当箇所に「レ」印で記入ください。
下記の用途に使用する場合は営利目的とします。
(1)営利の目的で入場料、受講料、会場費を徴収して催しを開催するとき。
(2)商品販売、商業宣伝等の営利的性格を有する行為を行う目的をもって使用するとき。
- ⑥ 附属設備の有無(使用される場合には有、されない場合は無の部分「レ」印で記入ください。)
- ⑦ 入場予定者数(概数で結構です)
- ⑧ 案内表示(電光掲示)・・・該当箇所に「レ」印で記入ください。
- ⑨ 担当者(利用にかかる実質的な責任者の住所・氏名・役職、電話番号を記載してください。)
- ⑩ 承認書等書類送付先・・・該当箇所に「レ」印で記入ください。

※中小企業料金の適用について

中小企業者又は支援団体の該当者は、福島県内に事務所、事業所等を有する中小企業及び当該中小企業を支援する者が事業活動の目的で使用する場合とし、該当する者であることを証明するものを添付ください。

※中小企業者とは

中小企業支援法(昭和三十八年法律第百四十七号)第二条第一項に規定する中小企業をいう。

※中小企業を支援する者とは

- (1)民法(明治二十九年法律第八十九号)第三十四条の規定により設立された法人、特定非営利活動促進法(平成十年法律第七号)第二条第二項に規定する法人その他特別の法律により設立された法人で、その設立の目的が中小企業者の支援であり、かつ、公共的又は公益的な事業を営むもの
- (2)県、国又は他の地方公共団体
- (3)法人でない社団で代表者の定めがあり、かつ、その構成員の三分の二以上が中小企業又は(1)もしくは(2)に掲げる者であるもののうち、その設立の目的が中小企業の支援であり、かつ、公共的又は公益的な事業を実施するもの